

令和6年度教員研修計画 【養護教諭 基本研修内容】

キャリア・ライフステージ 育成指標	研修 実施機関等	基礎力の形成期								実践力の向上期			実践力の充実期／実践力の発展期／総合力の発揮期			
		初任者研修				2年目研修		3年目研修		教職経験者5年研修			中堅教諭等資質向上研修／ステージアップ研修(前期・後期)			
		所属校	県教育委員会	教育事務所(小中)	県教育委員会(県立)	所属校	県教育委員会	所属校	県教育委員会	県教育委員会	教育事務所(小中)	県教育委員会(県立)	所属校	教育事務所(小中)	県教育委員会	総合教育センター他
		(88時間程度)	I(3日間)、II(2日間)、III(3日間)	(1日間)	(1日間)	自己研修(5時間程度)	(2日間)	自己研修(5時間程度)	(1日間)	(2日間)	(2日間)	(2日間)	中堅教諭等資質向上研修 一般研修及び自己研修(5~10日間)	中堅教諭等資質向上研修(1日間)	中堅教諭等資質向上研修(1日間)	実践力の発展期／総合力の差揮期 ステージアップ研修(前期・後期) ・テーマ研修(2日間以上) ※必要な学びを主体的に研修 ・選択必修(2日間)
教員としての素养		・教員としての心構え ・教職員の福利厚生 ・男女共同参画の推進	・養護教諭の職務と使命及び役割 ・学校における情報管理 ・教員としての使命・責任感 ・自己研修の意義と進め方 ・メンタルヘルスの不調の要因と対処	・専門職としての心構え ・身分と服務 ・社会人としての心構えとコンプライアンス	・本県高校教育の現状と課題 ・社会人としての心構えとコンプライアンス	・自己研修の推進(5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議	・自己研修の推進(5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議	・岩手の教育の充実に資する教員の在り方 ・「学び続ける教師」を具現化する自己研修の在り方	・児童生徒指導におけるコンプライアンス	・教員としての使命・責任感	・専門職としての教員の在り方	・ドルリーダーに求められる資質	・自己研修シェアリング	・本県教育行政の概要 ・教育の最新事情 ・国の教育施策 ・世界の教育の動向 ・養護教諭に求められる資質・能力
養護教諭の専門領域における職務	保健管理	・健康診断の進め方 ・健康観察の進め方 ・学校環境衛生の進め方 ・感染症への対応 ・救急处置への対応	・定期健康診断計画立案と運営、事後措置の進め方 ・学校環境衛生活動計画立案と運営、事後措置の進め方 ・緊急時の判断と対応 ・感染症の理解及び予防・発生時の対応			・学校保健計画の評価 ・救急体制と校内外の連携 ・カリキュラム・マネジメントの在り方			・健診診断の評価と改善 ・学校環境衛生活動の評価と改善 ・感染症対策の評価と改善 ・救急処置の評価と改善		・健康管理の効果的な取組の実際			<推奨研修(希望研修)> 養護教諭専門スキルアップ ・養護教諭における危機管理体制の構築		
	保健教育	・集団における保健指導の実際 ・学校保健啓発活動の実際 ・教育の意義と進め方	・特別活動の意義と進め方 ・性に関する指導の意義 ・薬物乱用防止教育の意義 ・学習指導要領(体育科・保健体育科)の理解					・特別活動等における保健教育の評価と改善	・特別活動における課題と指導の改善	・特別活動における保健教育の評価と改善 ・保健体育における保健教育の実際 ・学習指導要領	・学校の健康課題解決に向けた保健教育の実際 ・ICT活用			・養護教諭の特質を生かした保健教育のかかわり方と進め方		
	個別の保健指導、健康相談	・特別な支援が必要な児童生徒への個別指導の実際 ・健康相談の在り方	・健康相談の意義と進め方 ・児童虐待の理解					・現代的な健康課題を抱える児童生徒の支援		・チーム支援とコーディネーターとしての役割					<推奨研修(希望研修)> 養護教諭専門スキルアップ ・健康相談の理論と方法	
	保健室経営	・保健室の整備 ・保健室経営計画の立案と実践	・保健室経営の実際 ・保健室経営計画の立案と評価 ・職務におけるICT活用			・保健室経営の改善の視点 ・職務におけるICT活用		・保健室経営改善と評価の在り方 ・職務におけるICT活用	・保健室経営の評価と実践上の工夫 ・職務におけるICT活用	・保健室経営の評価と実践上の工夫	・学校保健管理センターとしての保健室経営の在り方			・学校保健課題解決のための保健室経営と協働の推進		
	保健組織活動	・学校保健委員会の実際	・学校における学校保健組織活動の意義と進め方					・保健組織活動の評価と改善		・主体的に取り組む学校保健組織活動の実際					・学校における保健組織活動の在り方と進め方	
生徒指導力	発達支持的生徒指導	・児童生徒理解の実際 ・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際 ・学校における生徒指導体制 ・人権教育の進め方 ・学校行事の指導の実際	・児童生徒理解と生徒指導上の諸課題への対応					・人権教育の充実		・異校種間連携の在り方	・様々な立場の同僚と連携して取り組む、多様性に配慮した学級・学年経営					
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・不登校児童生徒への対応 ・いじめ防止などの対応	・情報モラルとその指導				・いじめ問題への対応	・自殺予防教育の組織的な進め方 ・いじめ防止と対応の組織的な進め方	・子供の生活の変化を踏まえた適切な指導の在り方 ・いじめ等の問題行動・不登校等への組織的対応					・学校のいじめの実態 ・いじめの理解と対応の工夫 ・不登校の未然防止のための見取り ・不登校の背景理解 ・貧困問題への理解 ・不登校事例への柔軟かつ一貫ある対応		
	教育相談	・児童生徒のほめ方・叱り方 ・教育相談体制の理解	・児童生徒理解と教育相談					・課題を抱えた児童生徒の理解と対応 ・教育相談の進め方	・組織的に進める教育相談	・アセスメントの進め方の実際 ・教育相談の進め方					・実効的なカウンセリング理論と技法	
マネジメント力	学校組織における連携・協働	・学校教育目標と経営の重点 ・学校の組織と運営							・学校教育目標実現のための学校運営・学校評価							
	危機管理	・学校安全の意義と進め方	・学校管理下における学校事故の現状と課題			・事件・事故灾害発生時の危機管理		・学校教急体制の構築と関係機関との連携		・学校保健計画及び学校安全計画の改善	・ミドルリーダーとしての学校安全への取組(生活安全・交通安全・災害安全)				・専門職としての教員に求められる法令・法規 ・学校安全・危機管理の在り方	
	関係者等との連携・協働	・PTAの組織と運営 ・地域社会における組織、関係機関の役割と連携・協働の実際 ・保護者との面談の進め方	・教職員及び学校三師との連携の在り方						・家庭・地域との連携の意義と進め方							
復興教育の視点		・いわての復興教育の実際	・「いわての復興教育」の意義			・「いわての復興教育」の在り方				・所属校における「いわての復興教育」の推進						
キャリア教育の視点		・キャリア教育の意義と進め方				・キャリア教育の現状と課題				・所属校におけるキャリア教育の推進					・いわてのキャリア教育とその進め方 ・企業における人材育成 ・これからのキャリア教育の在り方	
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点		・特別支援教育の実際 ・個別の指導計画等の活用 ・交流及び共同学習の意義と実際	・発達障がい等特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応の実際 ・多様性と包摂性のある学校の在り方					・発達障がい等特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応の実際 ・多様性と包摂性のある学校の在り方	・特別支援教育と指導・支援の実際 ・特別支援教育指導法 ・特別支援教育の今日的価値	・多様性と包摂性のある学校の在り方			・共に学び、共に育つ教育を目指す ・特別支援教育の推進 ・心のパワーフリーの理解			
ICTや情報・教育データの利活用の視点																

研修を通してICTや情報・教育データの利活用の意義を理解し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現や校務等での積極的・効果的な活用を図る。

* 極度の研修内容にまたがる項目は、主たる研修内容欄に記載している。